

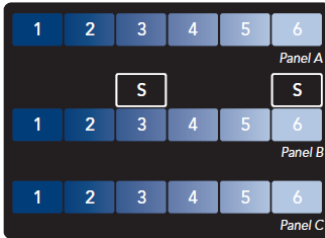
# オトレンズ

## IIC (Invisible-In-The-Canal)

# X series™

スペクトルiQは、通常動作していません(図Panel A)。高周波音声(子音)を検出すると、低周波数帯にコピーします(図Panel B)。高周波音声(子音)の入力がない場合は、スペクトルiQは動作しません(図Panel C)。

スペクトルiQの動作例



1-6はチャンネルのイメージを示しています



\* 装着イメージ

### <サウンドイメージング>

- Xシリーズ 110: 16チャンネル/16バンド

### <ピュアウェーブ フィードバック エリミネータ>

- クラス最高のハウリングキャンセレーションです。
- オープンフィッティングにおいても、幅広い適応範囲で素早くハウリングをキャンセルします。
- 最大28dBの余裕安定利得を提供します。

### <ボイスiQ2>

- 会話の音節間に存在するノイズを、超高速かつ的確に抑制します。
- スペクトルノイズ制御と、ダイナミック・ボイス検出の二つのアルゴリズムをチャンネル毎に適用し、SN比がプラスの時に作用します。
- 聞く努力と精神的ストレスを低減し、より改善した音質と聞き取りやすさ、そして騒音下での会話の明瞭度を提供します。

### <スペクトルiQ> ★ New

- 高音急墜型など高周波数が大幅に低下している方に適している周波数情報移転機能です。周波数帯を制限せず、自然な音質を維持しながら高周波数の音声情報を提供します。
- 以下の基準に全て当てはまる場合、スペクトルiQの使用をお勧めします。
  - ① 250Hz~4kHz: 25dB HL以上/oct.
  - ② ~1kHz: 全て55dB HL未満
  - ③ 1kHz~3kHz: いずれか55dB HL以上
  - ④ 4kHz~8kHz: 全て55dB HL以上

### <ライブスピーチマッピング>

- 会話をはじめとする入力音に対し、補聴器が行う処理をリアルタイムで表示します。カウンセリングや検証に効果的なツールです。
- ※お使いのパソコンの性能によっては、3D表示が出来ない場合があります

### <ボイスお知らせ音>

- 電池交換時期、メモリー切換え、自己診断の結果など、補聴器の状態を音声(日本語/外国語、男声/女声)でお知らせします。

### <自己診断機能>

- 補聴器のマイク、レシーバ、回路の故障診断が行えます。

### <In-Situ オーディオグラム>

- 補聴器を装着した状態で聴力域値と不快域値(UCL)の確認ができ、その結果を基にベストフィット、またはターゲットの更新が行えます。

### <快適さ検証>

- 小さな音が充分聞こえているか、大きな音が不快でないかを周波数ごとに確認することができます。

### <サウンドポイント>

- パソコンのマウスやiPadを使用して、ユーザー自身が、自分の好みの音に調整できる機能です。
- ユーザーが的確に不満を伝えられない、そのため調整に満足できない、という時に適しているツールです。

### <データログ>

- 補聴器の使用履歴を記録し、ユーザー様の使用状況を的確に把握できます。
- インスパイア-OSIによる分析で、よりよい調整方法を提案します。

### <セルフラーニング> ★ New

- ユーザー様が行なったボリューム調整をメモリーごとに学習し、少しずつ自動的に適用します。
- ユーザー様のボリューム調整の回数を減らします。

### <T2リモート>

- 携帯電話を利用して、ボリューム調整とメモリーの切換えができます。
- ※お使いの携帯電話によっては、ご利用にならない場合があります。

### <強化された点> ★ New

- **圧縮の改善**: 入力信号の変化への反応がさらに速くなったので、より快適な音質を提供します。
- **eSTATターゲットの更新**: スターキー独自のフィッティングフォーミュラで、随時更新されています。初期フィットでユーザーの満足度を上げ、微調整が最小になるよう設計されています。

## JIS/ANSI データ

		JIS	ANSI
適応聴力範囲		軽度～高度	
適応聴力レベル (dB HL)		70	
90dB最大出力音圧レベル (dB SPL)	ピーク	124	111
	1600Hz	116	-
最大音響利得 (dB)	ピーク	43-48	35-40
	1600Hz	40-45	-
等価入力雑音レベル (dB SPL)		<32	
使用電池		PR536(10A)	
電池の電流 (mA)		1.15	
電池寿命 (時間)		65	

- このデータはJIS C 5512(2000)、ANSI S 3.22(2003)に基づいて測定されています。
- 実際の電池寿命は使用状態によって変化します。
- 改良のため、仕様は予告なく変更される場合があります。

## 機能早見表

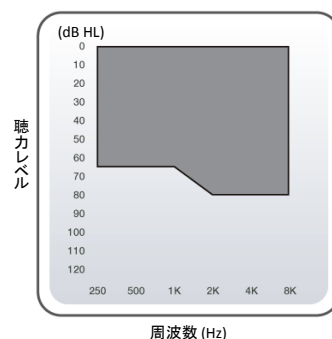
Xseries110

周波数調整	バンド チャンネル	16 16
ハウリング防止機能		ピュアウェーブ フィード バック エリミネータ
ボイスiQ2(最大抑制レベル dB)		5段階(20)
オーディオスケープ	静寂	5段階
	風	5段階(20)
	機械騒音	5段階(20)
	騒音	データログで確認可
	騒音下の音声	データログで確認可
スペクトルiQ		○
ライブ スピーチマッピング		3D可
ボイスお知らせ音		○
自己診断機能		○
In-situオージオメータ		○
快適さ検証		○
サウンドポイント		○
データログ		○
セルブレーニング		○
T2リモート		○
T2オンデマンド		○
パワーオン遅延(秒)		1 / 7 / 12
マルチメモリー		4メモリー標準搭載
オートマチックホン		-
保証		4

## 装用例



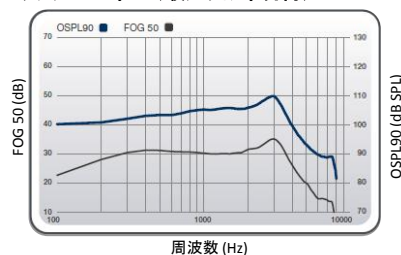
## 適応聴力範囲



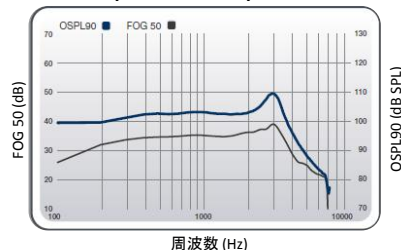
## 特性

90dB最大出力音圧レベル: OSPL90と  
最大音響利得: FOG50 ※2 cm<sup>3</sup>カプラ測定

### マトリクス111/35 (最大出力/利得)



### マトリクス111/40 (最大出力/利得)



## (注意事項)

オトレンズは、外耳道奥部に装用する補聴器です。印象採取の安全性確保、採取後の定期的管理を確実にするため、補聴器の供給は別紙ガイドラインに基づき、補聴器相談医の直接管理監督下で行って下さい。



医療機器 認証番号

Xシリーズ耳あな型: 223ADBZX00107000  
SPEC0081-00-JJ-JP JPYSP-081

スターキージャパン株式会社

横浜市都筑区仲町台5-2-20  
フリーダイヤル: 0120-045-190